



「孫文・梅屋庄吉と長崎」・「長崎～上海航路」記念シンポジウムの開催



孫文と梅屋庄吉の顕彰や「上海航路」等の新たな基盤を、今後の新たな日中の懸け橋づくりにどう役立てていくべきか、またアジアのゲートウェイとしてどういう役割をどう果たしていくのか等を議論するためのシンポジウムを開催。



ナビゲートトーク



歩平 氏 (基調講演)



パネルディスカッション

シンポジウム名

－辛亥革命100周年、日中国交正常化40周年－
「孫文・梅屋庄吉と長崎」・「長崎～上海航路」記念シンポジウム
～新たな日中交流の懸け橋と長崎～

- 日時：2012年1月23日(月) 13:45～16:45
- 会場：長崎ブリックホール 3階 国際会議場
- 参加者：約380名

概要

開会

- 「オープニングナビゲートトーク」中村法道 知事、李文亮 総領事、小坂文乃 氏

基調講演

- 「孫文と梅屋庄吉・トク夫妻3人像と日中交流の新しい潮流」
歩平 前中国社会科学院近代史研究所 所長

パネルディスカッション

パネリスト

- 歩 平 氏 (基調講演者・前中国社会科学院近代史研究所 所長)
- 俞 彭年 氏 (上海市对外友好協会副会長、長崎県立大学 名誉教授)
- 谷野作太郎 氏 (元中国大使、財団法人日中友好会館 副会長)
- 川島 真 氏 (東京大学大学院 総合文化研究科 国際社会科学専攻 准教授)

モデレーター

- 脇田安大 氏 (財団法人 ながさき地域政策研究所 理事長)